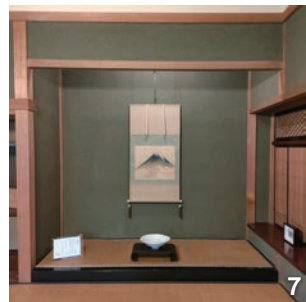




矢中の杜 2022

NPO 法人“矢中の杜”の守り人 会報

活動報告



■ 邸宅公開と収蔵品の展示

1 新しいガイドもデビュー 2 マスク姿でもガイドの溢れる熱意を感じていただけたでしょうか 3 文具の展示では矢中龍次郎氏の名刺も並びました 4 虫干しを兼ねて収蔵品を整理 5 電燈笠はこの場所にも戦争があったことを思い起こす貴重な展示でした 6 オーダーメイドの三揃いスーツはとても素敵 7 掛け軸の掛け替えも季節ごとに 8 お櫃やお茶碗、ふきんかけには懐かしさを感じる方も 9 夏にはレトロな虫除けグッズを 10 煙草入れは宝箱のようでした

■ 邸宅の維持管理と修繕

11 剥落した外壁の補修。賑やかに補修が進みます 12 外壁の剥落部分。漆喰が剥落し、下地の木摺り(きずり)が露出していました 13 守り人が左官補修にチャレンジ 14 毎年恒例の年末大掃除も寒い中ががんばりました 15 水道管周りも工事してもらい安心 16 穴の開いてしまった屏風 17 屏風も丁寧に補修しました 18 見事完了! 補修には様々な道具を駆使

邸宅公開と収蔵品の展示

2021年度に引き続き、毎週土曜日および月2回の日曜日午後、邸宅公開を実施しました。ガイドツアーは土曜日の11時から14時からの2回実施、自由見学制も併用しました。日曜日午後、自由見学制のみでの公開をしました。休止していたアンケートも、受付での聞き取りやGoogleフォームを利用して再開しました。団体見学は、感染状況を見ながら受け入れを再開しました。2022年度の見学者数は、合計949名(うち有料見学者数885名)です。以前ほどではないまでも、まだ注意が必要ですが、今後もお越しいただいたお客様には、ゆっくり楽しんでいただけたらと思います。

また、2022年度は、邸宅公開の際に、年間を通して邸宅内に残る収蔵品の展示を行いました。この作業は、タンスや物入れ、引き出しに収蔵されている品々を公開時に見学できるように展示するとともに、収蔵品の確認と虫干しな

めて見る収蔵品が多く、日用品から迎賓用まで様々な品を見つけながら、楽しめました。(守り人F&N)

邸宅の維持管理と修繕

ドメンテナンansom兼ねるものでもありました。例えば、4月には書齋に名刺・筆などの文具類を、7月にはお櫃、弁当箱、食器類を台所に、など。季節ごと部屋ごとに、関連の品を展示しました。七宝や漆塗りの煙草盆・煙草入れなど迎賓用と思われる美しい品も。龍次郎さんのツイード三揃いスーツも見てくださいなど、当時からより身近に感じられる展示となりました。保存活動が始まった当初の調査以来、確認していないものも多いため、守り人たちにとっても初

2022年度も、害獣忌避対策・本館陸屋根の雨漏り対応を行ったほか、収蔵品の展示のため、所蔵の屏風二隻の修復を行いました。また、庭内にソーラーセンサーライトを設置、防犯対策としました。2022年2月の地震による毀損部分(別館2階南面外壁の一部剥落)は、同じく被害のあった敷地東側大谷石塀とともに補修を行いました。本館外部の給水バルブが寒波対策で閉めたまま開かなくなったため、急遽オオウチ商事に工事を依頼。今後のメンテナンスのためにバルブを新設し、水道メーターボックスも嵩上げしました。別館2階部分の傾きについては、補強設計案の工事見積を株式会社マノールに依頼しています。他にもWiFi機器の見直しを行い、全館で使用可能となりました。(守り人N)



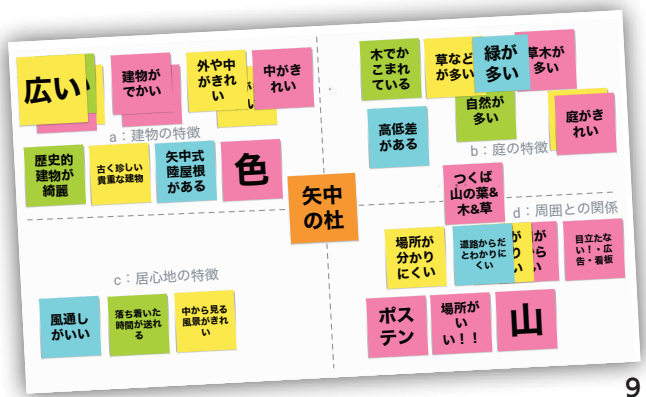
庭園の管理と整備

有志による「庭倶楽部」では、邸宅内の庭や旧北条小学校との間の小道において、草取りや樹木の伐採、季節に応じた花などの植栽といった整備を昨年に引き続き行いました。

表の[※]版築^{はんちく}の前に置いている、伐採した竹を利用したサイクルラックは、実際にスポーツバイクに乗っている会員の意見を取り入れながら改良して作り直し、2月には2つ目も追加しました。近隣にお越しのサイクリストの方々によく利用していただいているようです。

これに加え、中門前の植え込みの大谷石積みも補強・積み直したりしたほか、土壌改良のために花壇に竹炭を混ぜてみるといった試みもしています。(守り人K)

※版築(はんちく)：土を突き固めて重ねていく古からの技法。矢中の杜の表門には、ワークショップで守り人たちが制作した版築塀があります。



つくばね学

1 恒例の大王松葉集め 2 矢中の杜の魅力地域にもっと伝えるべく思案中 3 暑い中で草取りもお疲れ様でした 4 会報の製本もしてもらいました 5 つくばね学とは別に、筑波大学院世界遺産専攻演習も受け入れました 6 ガラス窓拭きも丁寧に 7 木製の雨戸に興味津々 8 ぱっと目をひく看板が完成 9 生徒たちによる矢中の杜の魅力の抽出と分析。魅力がたくさん見つかりました

つくばね学

2022年度も筑波高校のカリキュラム「つくばね学」の実習を受け入れました。

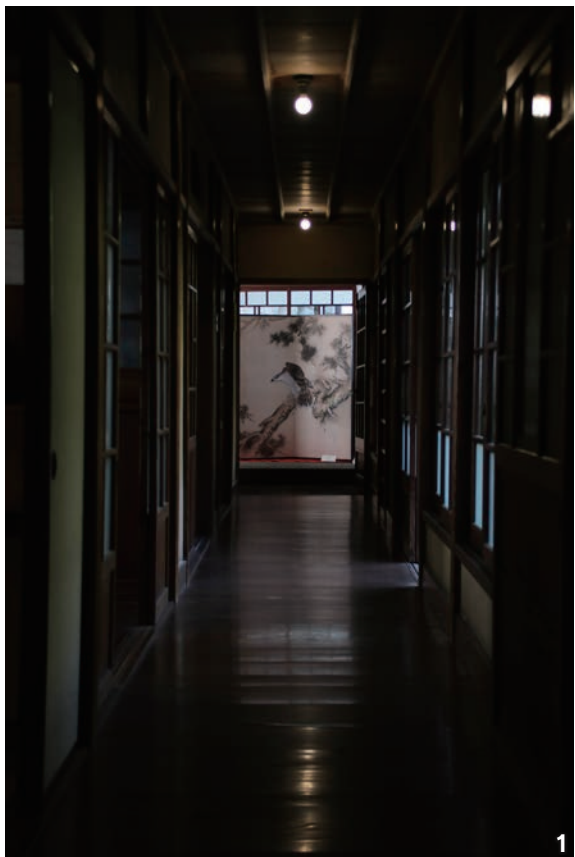
前期は新3年生4名が庭園の手入れや整備のほか、生徒たちからの希望から、奥庭側の看板の製作に取り組みました。まず矢中の杜の魅力の抽出に生徒たちが取り組み、その内容を受けて守り人がデザイン案を制作、その中から生徒たちが選んだデザインを看板として掲示しました。(木野陽氏にイラストをご提供いただきました)また、「秋の特別公開」にボランティアとして参加し、賑やかな矢中の杜を体験してくれました。

後期9月からは2年生5名が新たに矢中の杜での活動に来てくれました。大王松の落ち葉を集めることから敷き詰めまでの作業をし、恒例になった「敷松葉」の再現は、公開時に一般の見学者も楽しませてくれました。(守り人N)



庭園の管理と整備

10 竹製のサイクルラックはどんどん進化しています 11 矢中の杜の表門ではサイクルラックと版築(はんちく)塀がおもてなし 12 早朝の涼しい時間から作業が進みます 13 お稲荷様への道のクリスマスローズも見事に 14 大谷石の積み直しは押し出した根っこの掘り返しから 15 中庭の池ではガマガエルが産卵 16 伸びすぎた庭木の手入れ 17 真っ赤なダリアは邸宅に似合います 18 紫陽花もきれいに咲きました 19 奥庭の大王松の葉は作家さんの手で正月飾りにも



■秋の特別公開

1 廊下の奥に展示された「鷹図」
 2 「菜果図／海魚図」の衝立はいつもと違って見えました 3 様々なところでじっくり鑑賞 4 ふれあい館の皆様も賑やかにご見学
 5 書斎には屏風に関する豆知識コーナーも 6 吉田建具製作所の組子も並びました 7 じっくりと見学していただきました 8 別館2階には任巻の「鳳凰図」

■邸宅利用

2022年度は「俳句会」や「着物商品の撮影」、「フラワーアレンジメントレッスン」の場所として邸宅をご利用いただきました。

俳句会では、昭和の邸宅の風景を楽しみながら切り取って、素敵な俳句にいただきました。着物商品の撮影では、柔らかな光のもとで邸宅の雰囲気や溶け込んだ着物や小物の写真がとても印象的でした。

フラワーアレンジメント・プロデュースEmiさんには11月から定期レッスンとして月1回ご利用いただき、ときには庭園の草花も使って矢中の杜でしかできない季節のアレンジメントが多数できました。定期レッスンは2023年度も引き続き開催いただけること、ご一緒に貸切の贅沢な空間でお花遊びを楽しみませんか。これからも様々なアイデアで邸宅を楽しんでご利用いただけると幸いです。

(守り人Y)



■邸宅利用

9 三世代の生徒さんで仕上げたクリスマス飾り 10 貸切の少人数でのレッスンは贅沢です 11 しっかり花と向き合って 12 庭園からの植物も生かして矢中の杜ならではのアレンジも

■守り人育成講座

13-14 現オーナーの森さんが邸宅への想いを語ります 15-16 理事長による講座は宮清大蔵で開かれました

■秋の特別公開

筑波山麓秋祭り2022に合わせ、所蔵の屏風を展示公開する「矢中の杜 秋の特別公開」を開催しました。今回展示した屏風絵は邸宅内の杉戸絵などでお馴染みの南部春邦や野沢如洋によるものが中心で、邸宅とともにご覧いただきました。

秋祭りは、行動制限や自粛の風潮が和らぎ、行楽や外出の機運が高まっていたこともあり大変盛況でした。天候にも恵まれ、スタンブラリーを楽しみ来訪者も目立ちました。

展示として皆様の心を掴んだのは、表玄関から続く廊下の先で見られる者を圧倒した緑雨の作による二曲一隻屏風「鷹図」、そして別館2階で神々しさを放った南部春邦による「鳳凰図」ではないでしょうか。また、普段の邸宅公開では玄関を彩っている南部春邦の衝立「菜果図／海魚図」は、龍次郎さんが長い時間を過ごした居間で光を受け一層鮮やかさを増していました。

(守り人MM)

■守り人育成講座

2022年度の守り人育成講座は、2回開催されました。

1 回目は2022年11月27日(日)に現オーナーである森さんを講師に迎えて開催されました。矢中の杜は、2008年に森さんが所有者となったのがきっかけで活動が始まりましたが、その当時森さんはどのような思いを抱いておられたのか、どのような経緯で活動が始まったのか、大変興味深い話を聞くことができました。

2023年2月12日(日)には、毎年恒例の理事長が講師を務める講座が開催されました。「旧矢中邸の歴史や特徴」「文化財保護制度」「保存活用活動の経緯」をテーマに、2時間かけて、矢中の杜を深く知るための講座です。参加者は、活動に興味があると参加してくれた方、今年度新たに守り人になつてくれた方、ベテラン公式ガイドなど。皆熱心に耳を傾けていました。

(守り人I)

活動履歴

年	月	日	場所	活動内容
2022	4	10	矢中の杜	邸宅利用「俳句会」開催
	5	13	矢中の杜	筑波大学大学院世界遺産専攻演習
	5	22	矢中の杜	NPO 総会
	6	19	栃木県宇都宮市大谷	守り人満喫デー（大谷訪問）
	8	12	矢中の杜	夏期休業（～8/19）
	8	29	矢中の杜	邸宅利用「KIMONOSAKURA 撮影」
	9	4	御茶ノ水ソラシティ （東京都千代田区）	第18回 住まいとコミュニティづくり活動助成事業成果発表会（2021年度助成） & まちづくり NPO 交流の集い
	10	29	矢中の杜	筑波山麓秋祭り「秋の特別公開」（～11/6の土日祝）
	11	12	矢中の杜	JR 駅からハイキング「門前町北条にある古い蔵と豪邸をめぐる」コース （11/12, 19, 20）
	11	20	矢中の杜	邸宅利用「フラワーアレンジメントレッスン」
	11	27	矢中の杜	守り人育成講座（講師：森 洋）
	12	2	矢中の杜	奥庭側看板掲示（つくばね学）
	12	4	矢中の杜	別館外壁修繕作業
	12	11	矢中の杜	邸宅利用「フラワーアレンジメントレッスン」
	12	18	矢中の杜	年末大掃除
	12	19	矢中の杜	年末年始休業（～1/6）
2023	1	21	矢中の杜	敷地東大谷石堀の修繕
	1	22	矢中の杜	別館外壁修繕作業
	1	22	矢中の杜	邸宅利用「フラワーアレンジメントレッスン」
	2	5	矢中の杜	雛飾り・着物の虫干し
	2	12	宮清大蔵	守り人育成講座（講師：井上美菜子）
	2	12	矢中の杜	邸宅利用「フラワーアレンジメントレッスン」
	3	19	矢中の杜	邸宅利用「フラワーアレンジメントレッスン」
	3	26	つくば市小田	守り人満喫デー（小田訪問）

主なメディア掲載

年	月	日	掲載誌など名称	掲載内容
2022	5		「T-ACT のすすめ」	筑波大学 T-ACT の活動冊子に、矢中の杜での活動のレポートが掲載
	5		同人誌「常陸野みちかの ワークショップ・レポート」	2019年9月開催の筑波大学トランスポーター・マンガ・リサーチグループによる「マンガでトランスポーター VOL.4 マンガであなたとつくばと世界をつなごう！」ワークショップの開催レポートで矢中の杜の紹介
	9	7	読売新聞茨城版 『文化財再考 保存・活用へ』	『歴史建造物「維持困難」』の記事の中で、NPO 法人による保存の例として当法人の紹介
	9		「月刊とも」2022年9月号	「建物レポート」にて矢中の杜の紹介
	12		写真集「大谷石 未来へ」	NPO 法人大谷石研究会による大谷石を使った建築物の写真集に矢中の杜が事例の一つとして紹介
2023	2	9	「プレバト!!」TBS系毎木曜日	番組内で木製冷蔵庫のブログ写真を使用、エンドロールに「矢中の杜」を表示
	2		北条地区プロモーション動画 「クリエイティブ+ビューティフル ネイチャーライフ=北条」	つくば R8 アイディアソン北条チーム「北条アースワーク」により撮影・制作された動画の中で紹介
	2		筑波山麓秋祭り PR 動画 2022 -北条・小田地区-	筑波山麓秋祭り HP で公開された「北条・小田地区」の紹介動画の中で「矢中の杜 秋の特別公開」開催の様子を掲載

NPO 会員数（2023年3月31日現在）

正会員 17名 / 友の会会員 32名 / 賛助会員 8名 計 57名



■守り人満喫デー（大谷）

1 巨大な大谷石の壁の大谷景観公園 2 高さ 27メートルもある平和観音 3 天然の岩肌を直接掘って作られています 4 徳次郎石造りの民家が連なる西根集落 5 カネホン採石場では現在も採石している場所を見学 6 大谷磨崖仏のある観音堂でしっかりお参り 7 暑い日でしたがたくさんのご参加ありがとうございました

■守り人満喫デー（小田）

8 小田の旧永田邸 9 TAMARIBAR では名物たまごかけご飯をまず撮影 10 旧永田邸で古い新聞を発見

守り人満喫デー
（大谷・小田訪問）

2022年6月19日(日)、大谷石についての知識を深めるため、井上俊邦氏案内のもと産地の見学ツアーが行われました。街歩きしながら地元石材店の多様な大谷石の使い方や切り出された運搬前の石、大谷寺の日本最古の石仏「大谷観音」や重要文化財の「大谷磨崖仏」、街に溶け込んだ「ダルマ岩」、カネホン採石場などを見学し、大谷石の魅力満載の楽しいツアーとなりました。

2023年3月26日(日)、茨城県つくば市小田地区の古民家活用や街づくりについて、NPO法人TAMARIBAR代表の大類裕幸氏のお話を伺いながら、駄菓子屋だった磯山商店をリノベーションした街の休憩所「TAMARIBAR（タマリバ）」で美味しい昼食を頂いた後、活用に向けて改修中の「旧永田邸」もご案内頂き、とても有意義な一日となりました。（守り人M&S）